

表 シカゴ連銀経済報告(2023年11月29日公表)

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用は緩やかに増加 賃金は緩やかに上昇	賃金・福利厚生費は緩やかに上昇したが、賃金上昇の圧力は鈍化していると答えたところもあった。
物価	緩やかに上昇	関係者は今後1年間も同様の上昇率を予想。非労働コストは、エネルギーコストと輸送コストの上昇もあり、緩やかに上昇した。サプライチェーンの問題は少なくなったものの、原材料は依然として高価であると指摘する生産者もいた。また、値上げに対する反発が強まっているとの声も聞かれた。消費者物価は、堅調な需要とコスト上昇の転嫁により緩やかに上昇した。
個人消費	わずかに減少	高級品、新商品、アウトレット店での低価格商品、eコマースサイトでの支出が増加した。一方で、返品処理業者からの報告によると、衣料品や電化製品の返品は減少しており、これはこれらの商品の売上減少の指標となっている。レジャー・接客業では、飛行機を使った旅行とホテルへの支出が減少した。
企業支出	わずかに増加	大型トラック輸送サービスの需要は小幅に減少した。住宅用および商業用の電力使用量は小幅に減少したが、産業用の電力使用量は多少増加し、ある担当者はUAWのストライキ終結後に増加したと指摘した。製造業の在庫は総じてやや高水準であった。特殊な電気部品やポリマー部材など、若干の在庫不足は残っているものの、大半の関係者は全体的な在庫不足は少ないと指摘した。
建設と不動産	わずかに減少	住宅建設は、大規模なリフォーム・プロジェクトの需要が大幅に減少し、わずかに減少した。住宅建設業者は今後数ヶ月間の活動について、年初よりも悲観的な見方を示した。住宅用不動産販売件数はわずかに減少したが、住宅在庫の低水準が続ぎ、価格と賃料はわずかに上昇した。高金利のため、以前は資金的に可能であったプロジェクトが無期限延期を余儀なくされているとの報告があった。商業用不動産の動きは、空室率とサブリース・スペースの稼働率も低下したものの、わずかに減少した。価格と賃料は下落した。あるコンサルタントは、賃貸活動は維持されているが、販売活動は落ち込んでいると報告した。
製造業	控えめに減少	機械販売は、自動車部門向け販売の減少もあり、小幅に減少した。自動車生産台数は、UAWのストライキにより、報告期間中平均して減少した。大型トラックの需要は小幅に減少した。
金融	わずかに引き締まった	債券および株式市場の資産価値はやや上昇し、ボラティリティ(値動きの大きさの度合い)は低下した。企業融資の需要は控えめに減少し、融資の質は低下した。企業融資の金利は控えめに上昇し、基準はわずかに引き締まった。消費者融資の需要はほとんどのセグメントで控えめに減少した。消費者融資の質は、特にクレジットカードローンにおいてわずかに低下した。消費者融資の金利は控えめに上昇し、基準はわずかに引き締まった。
農業	農業所得はほとんど変化なし	トウモロコシと大豆の価格は過去2年間で最低水準まで下落し、小麦の価格は横ばいとなった。燃料や肥料を含む主要な作物投入コストは低下した。卵価格は上昇、牛乳価格は横ばい、バター価格は下落した。牛と豚の価格はともに下落した。
地域社会の状況	経済活動はほとんど変化なし	中小企業経営者は、人件費と資本コストの高騰が利益率を低下させていると報告した。非営利団体の関係者は、特に食料配給所での需要が引き続き高いことを経験しており、民間資金の減少、公的資金の受領の遅れ、新型コロナウイルスのパンデミック中の政府支援の終了について懸念を表明した。低・中所得層の消費者は、冬に向けて住居費、食費、暖房費の上昇を見越して、冬物衣料に「継ぎはぎ」をして備えている。

(出所) シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成